

## TOPICS

## 若林正俊 農林水産大臣のご視察

平成20年7月7日(月)に若林正俊農林水産大臣が視察のため来所さ



れました。大臣一行は、筑波農林研究団地のご視察の一環として当所を視察されたもので、大臣には、山口靖農林水産大臣秘書官、農林水産技術会議事務局から竹谷廣之事務局長をはじめ5名が随行されました。当所対応者は、村上所長、瀨岡企画管理部長ほか12

名で、動物衛生高度研究施設会議室において村上所長より挨拶・当所概要説明、山口研究管理監より「高病原性鳥インフルエンザ研究等の概要」、毛利プリオン病研究センター長より「BSE等プリオン病研究の概要」説明が行われ、質疑応答がありました。その後、大臣はロビーでのパネル説明を受けたり、BSE感染牛脳組織切片標本の観察などをされ、説明に当たった研究者に熱心に質問されていました。

(研究調整役)

## 平成20年度一般公開を開催

当研究所つくば本所では、4月18日(金)、19日(土)の2日間にわたって平成20年度一般公開が実施



されました。18日は朝から強い風雨の中、所内講堂にて最近の研究成果を紹介するパネル展示、原虫標本の顕微鏡観察、ウサギの聴診体験などを実施し、500名を超える見学者の訪問がありました。見学者はそれぞれのコーナーのパネルや展示物に見入って、職員に説明を求める光景がしばしば見られました。また、所

内ミニツアーとして「電子顕微鏡で病原体を観察する」コーナーでは、初めてみる病原体に想像以上の迫力で感動したという声もありました。19日は、場所を農研機構本部内の「食と農の科学館(ギャラリー)」に移して行われました。当所は「畜産物の安全のために」というテーマを掲げ、牛が生産現場から食肉として食卓にあがる過程において、動物衛生研究所が畜産物の安全性確保にどのように関わっているかを紹介する大きなパネルを展示し、当所研究業務への理解を広げることができました。

(情報広報課長)

## 第7回産学官連携推進会議に参加・出展

6月14、15日の2日間、国立京都国際会館において、我が国最大規模の産学官連携の場である「第7回



産学官連携推進会議——科学技術による地域イノベーション～産学官連携のローカル&グローバル展開～」(主催：内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省、日本経済団体連合会、日本学術会議)が開催されました。会議には大学や研究機関、企業など全部で100を超える事業体、4,000人以上が参加し、福田康夫内

閣総理大臣のメッセージ、岸田文雄内閣府特命大臣による基調講演やワークショップ、4つの分科会等が開催されました。当所は農研機構の4研究機関と共に今回初めて出展し、産学官連携推進委員会を中心に5名が、民間企業等との共同研究成果5点についてポスター・製品展示を行うとともに資料配付を行いました。当所のブースには澤雄二農林水産大臣政務官をはじめ多くの訪問があり、具体的な研究協力の申し出があるなど、動物衛生研究に対する期待の大きさを実感した2日間でした。

(研究管理監)